

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族への定期的なホーム便りの作成を検討されることを期待する。	ホーム便りの作成を行い、御家族に郵送する。	レクリエーションの様子、行事食の様子など普段生活している姿を報告出来るようにしたい	3ヶ月
2	26	より利用者本位(本人の好きな事・やりたい事を最重視)のポジティブな計画となるよう、利用者の想いが込められた言葉(○○したい、○○が好き等)を目標(ニーズ欄)にそのまま明示する事を期待する。	目標(ニーズ欄)に利用者さんのポジティブな想いを記入するようにする。	利用者さんのしたい事・好きな事を把握し、ケアプランに記録する。	3ヶ月
3	35	生命にかかわる緊急事態(心肺停止・誤嚥・窒息等)を想定し、定期的・継続的なロールプレイ訓練の実施が期待される。	スタッフで実践勉強会を行う。	特に窒息が最近あったので、ハイムリツヒ法の勉強会を行う。	3ヶ月
4	38・39	備蓄品(水・食料等)の充実とリスト化、定期的な内容点検が期待される。	備蓄品の充実とリストの作成を行う。	水・カップラーメンなど準備し、賞味期限が切れる頃に皆さんで召し上げり次回分を補充する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。